

松尾鉱山資料館だより

MATSUO MINE MUSEUM



松尾鉱山資料館 TEL 78-2598

松尾鉱業株式会社の誕生

◆松尾鉱山の開発に乗り出した中村房次郎氏

明治40(1907)年に鉱山が本格的に開かれましたが、製錬がまの故障や冬期間操業の見込みを上回る出費、賃金不払いにより鉱山労働者が逃げ出すなど、廃山の危機に直面していました。

当時、鉱業権を持っていた永井久太郎氏は、教え子である横浜の貿易商の中村房次郎氏に鉱山開発の資金援助を頼みました。地下資源の開発という国家的な事業に意義を感じた中村氏は、鉱山経営を引き継いで経営改革と開発に乗り出すことを決意。大正3(1914)年に松尾鉱業株式会社を設立しました。



中村氏の肖像画
(松尾鉱山資料館蔵)

◆鉱石の輸送路が整備され軌道に乗った生産体制

初代社長に就いた中村氏は、応用地質学の第一人者であった巨智部博士に地質や鉱床の調査を依頼。その結果、硫黄鉱石の埋蔵量は最低でも61万トに上ることが明らかになりました。明治44(1911)年の1カ月生産計画量が120トであったことから、420年以上採掘できる計算になります。鉱山の優秀性を確信した中村氏は、さっそく開発に乗り出しました。

標高900mの元山には事務所や倉庫、荷造場、住宅などが建設され、麓の屋敷台との間には道路を切り開いたほか、ハリジー式と呼ばれる架空索道を新設。鉱石の輸送路が整備され、ようやく生産が軌道に乗りました。



ハリジー式架空索道

図書館だより

L I B R A R Y



図書館 TEL 75-1700

松尾コミュニティセンター図書室 TEL 76-3235

荒屋コミュニティセンター図書室 TEL 72-2505

◆クリスマスお話し会

一足早い「クリスマスお話し会」を開きます。「おはなしどんどこ」(盛岡市)の皆さんと一緒に話し会やクリスマスツリーの装飾作りで楽しみましょう。参加者には、手作りのあみぐるみのプレゼントがあります。



■日時 12月8日(日)午後0時45分から3時まで

◆12月から冬季開館時間に変わります

12月2日(月)から3月末までの期間、図書館の開館時間が下記の通り変わります。

■開館時間 午前9時から午後6時まで
(日曜・祝日は午後5時まで)

※本の返却は返却ポストを利用できます。

※松尾・荒屋両コミュニティセンター図書室の開館時間は変更ありません。



◆新着ピックアップ

『スポーツの迷路』

作・絵/香川元太郎、香川志織、出版社/PHP研究所
水泳、サッカー、スキーなど、60種類の競技について遊びながら学べる、迷路や隠し絵など仕掛けがいっぱいの絵本。大人気「迷路絵本」シリーズの新刊です。



『自分を信じた100人の男子の物語』

文/ベン・ブルックス、絵/クイントン・ウィンター
出版社/河出書房新社
世界的な有名人から、ちょっと変わった生き方をした人まで、自分を信じて道を切りひらいた100人の男子の物語を肖像画入りで紹介。

